



# みさき 議会だより



第103号 平成28(2016)年 4月号

## 主な内容

- 3月定例会・新年度予算審議 . . . . . p2
- 常任委員会審査状況 . . . . . p4
- 議員7人が一般質問 . . . . . p6
- 議案の賛否・陳情審査 . . . . . p13
- 子ども夢議会 . . . . . p14
- 町民登壇 . . . . . p16

## 西小学校入学式

題字

南小学校6年 川北宇宙さん

# 3月定例議会

3月3日～3月18日までの16日間

平成28年度一般会計

歳入・歳出

**49億2,350万円**

(前年度 50億8,500万円)

**一般質問は7名**

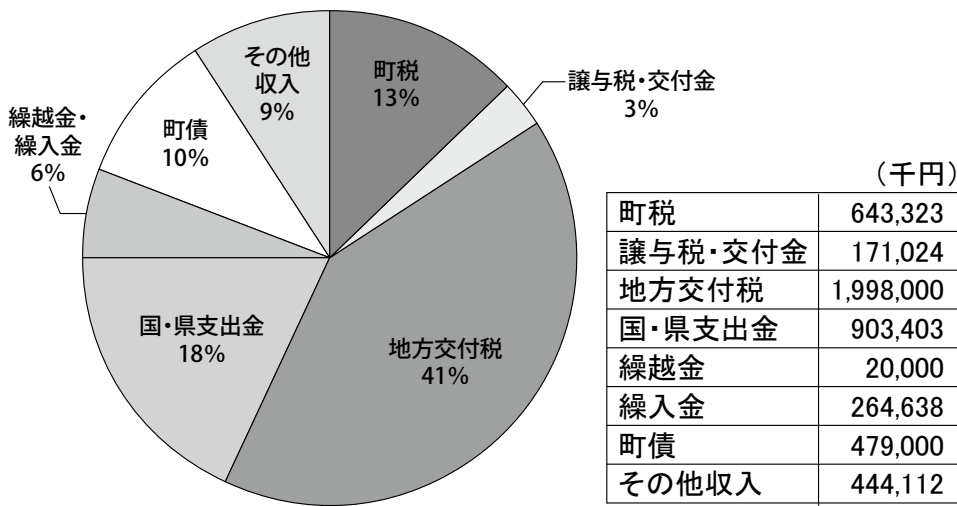
# 平成28年度 一般会

# 小学校統合事

【修正理由】

小学校統合事業について、少人数学  
地域・町民への説明をし理解を得な

## 【歳入】

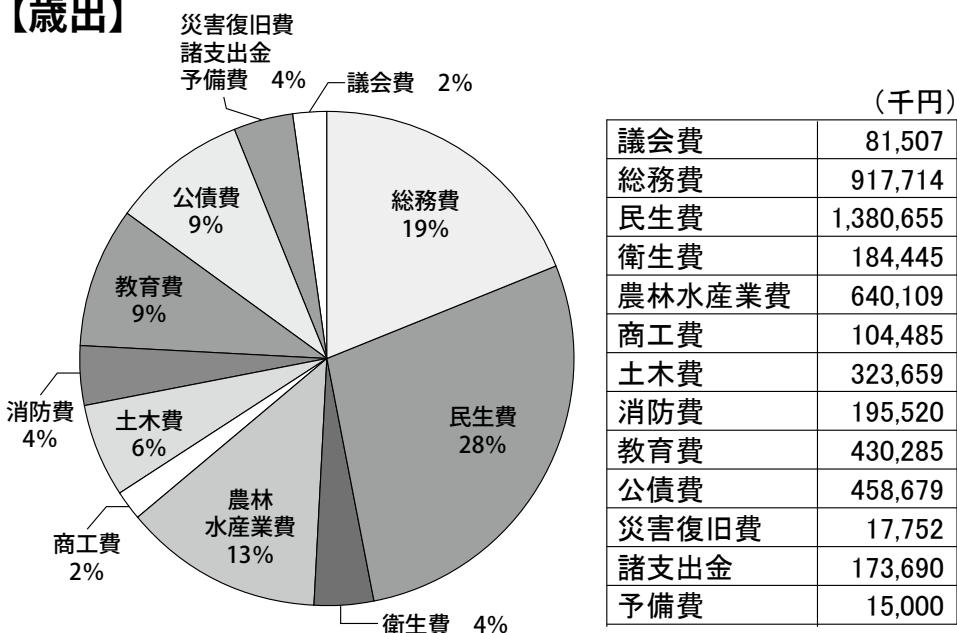


## 文化ホール施設改修費 214,055千円

文化ホールの長寿命化をはかるため、平成27年度実施した屋上階と舞台裏廊下を除く、屋根の折板塗装及び防水工事並びに空調機器および照明設備の改修工事を実施



## 【歳出】



## 公開番組開催事業費 4,030千円

新しくなったスポーツセンターで、日曜の「NHKのど自慢」を開催。9月10日に予選。9月11日に本番の予定。

# 業費を削除する修正案を可決

級の解消は、早急な課題であり、教育大綱で定めているとおり平成30年に統合し、から新しい学校建設を進めるべきと考え、その事業費及び債務負担行為を削除した。

## 平成28年度注目の事業!!

**がんばる地域プラン事業**  
9,830千円

未来へつなげ、三朝町水田農業活性化プラン。  
三朝米の生産振興(商品化、土作り、新技術の実証)  
地大豆の振興(品質向上、新技術の実証)



**防災基盤整備事業(消防施設)**  
43,924千円

消防ポンプ更新：  
2台(砂原班、穴鴨班)  
消防ポンプ自動車更新：  
1台(本泉班)  
防火水槽改修：  
2基(鎌田、大瀬)  
消火栓新設:1集落(鎌田)



消防ポンプ自動車イメージ

## その他の注目の事業!!

**名勝及び史跡三徳山史跡等買上げ事業**  
103,696千円

名勝及び史跡地内の民有地について、過疎、高齢化により荒廃が懸念されることから、公有地化を行い適正な管理を行う。

**トレーニングセンター耐震改修事業**  
89,174千円

トレーニングセンターの耐震改修および老朽部分の改修

## その他の審議!

※バス運行対策費補助金  
学校統合等含め町営の運行といった新交通システムも考えていくべきではないか。

(回答)  
住民と観光客の利便性を考慮しながら、運行距離の減、デマンド化、運行便数の減により経費の削減にも取り組みながら、現在町内で84便のバスが運行されている。3,800万円の補助金のうち実質の町負担額は650万円程となっている。利用促進の面からも通学には路線バスを利用してほしい。利便性と経済効果を考えながら今後も研究を重ねたい。

※ふるさと健康むらについて  
利用者数、売上等が少ないようであるが、運営のあり方はこのままでよいのか。三朝町の観光振興に寄与していないのではないか。

(回答)  
利用者数増に向け、三朝米と三朝神倉の納豆等を1コインで試食する「神の食卓」を実施する予定。今後は、例えば旅館と提携して広場の利用と日帰り入浴を組み合わせるなど、広場や施設の利用促進に取り組みたい。

※プランナールについて  
指定管理との契約については、町民のコンベンション施設の機能や町民が気軽に利用できる施設として利用できるよう配慮すべきである。

(回答)  
指定管理者の公募や選定にあたっては、町民や地域への貢献に十分配慮したい。

## 常任委員会で 慎重審議 委員会における主な質疑

### 総務教育常任委員会

#### 危機管理課

##### AED設置事業(198万円)

(委員) AEDは返還するものなのか。

(回答) 消防庁からの貸与であり、耐用年数が過ぎたものについては返還することになっており、今後、新たに貸与がない場合は、事業を活用してリースで配備します。

##### 消防団員報酬(573万円)

(委員) 団員の制服の予算はどれくらい組んであるか。

(回答) 新入団員の活動服2万8千円×15人分(42万円…作業服2セット、帽子、ベルト、ケハン)、本部員の制服については5人分、活動服の更新が2万円×10人分で計上しています。

#### 財務課

##### 国民宿舎事業出資金 (6,853万円)

(委員) 国民宿舎事業への出資金

の内訳は。

(回答) 借入金の償還に5,852万6千円、退職手当特別負担金に518万4千円、営業職員人件費に482万6千円となっております。

##### 公共用施設用地借地料 (502万円)

(委員) 公共用施設用地借地料の内訳はどうなっているか。また、購入に向けた検討はなされているのか。

(回答) 役場庁舎が60万3千円、高勢地区公民館が8万8千円、スポーツセンターは433万円です。可能なら用地購入を進めていきたいが、地権者の意向もあり、借地のままの状況です。役場庁舎については一部購入して借地を減らしているが、それ以外は進んでいないのが実情です。

#### 子育て健康課

##### 三朝町子ども・子育て家庭 支援事業(265万円)

(委員) 子育て世代包括支援センターと地域子育て支援センターについて、イメージとしては妊娠から出産までが前者で、出産後は後者という考え方か。

(回答) きめ細やかな支援ということで、重層的に取り組むもの。今回、新たに、妊娠期か

ら子育て期についての今までの空白部分、特に出産から産後について、個別のケアプランを立てるなど個別相談に応じるもので、将来的には虐待防止にも繋がる取り組みと考えています。

子育て支援センターを利用できない方へこちらから出向いていくというのが、子育て世代包括支援センターの大きな役割だと考えています。

#### 福祉課

##### 高齢者交通費助成事業 (664万円)

(委員) タクシー助成について、回数の上限はあるのか。

(回答) ひと月あたり4枚の助成券を出しており、年間48枚となっております。



消防団員活動服

## 産業民生常任委員会

### 特産品の育成、 ブランド化

#### 農林課

##### 地域営農支援体制整備事業 (580万円)

(委員) 地域営農支援体制整備事業で580万円となっているが、従前のグリーンサービスの助成金以外のものか。

(回答) 580万円の内訳は、グリーンサービスへの直接的な助成金の500万円は変わりません。80万円については、50万円は県の元気な里山応援事業で、グリーンサービスの受託機能のアップに向けたモデル事業として30万円を組んでいます。

##### がんばる地域プラン事業 (地大豆の振興)(274万円)

(委員) 神倉大豆は評判が良く、品不足と伺っているが、農協の倉庫には在庫がたくさんあると聞いている。在庫がないようにしなければならない。

(回答) 平成26年の作付面積は19ヘクタールで、平成27年は28ヘクタールとなったため、在庫が増え販売が追い付いていないようです。がんばる地域

プラン事業を使って、販売促進に取り組んでいます。

でも検討していきます。

#### 観光企画課

##### バス路線維持費補助金 (3,833万円)

(委員) バスの運行補助金の約3,800万円の中で、実質の町費負担額はいくらとなるのか。

(回答) 県費が596万円、町費が625万円で残りの約2,600万円は特別交付税で財源措置されています。

##### 移住定住促進事業(300万円)

(委員) 移住を促進するために中古物件の購入についても補助対象とすることも将来的に考えてみてはどうか。

(回答) 移住促進の観点からそのような補助制度の新設について

#### 財務課

##### 国民宿舎事業会計 (3億1,528万円)

(委員) 目標が3億1,500万円、損益分岐点が3億1,000万円と記憶しているが、この予算でいけば、指定管理に出す必要はないということか。

(回答) あくまで、予算上の目標としている数字です。決算がこのくらいになると、施設の改修を考えなければ、ぎりぎり直営で運営できる数字だと思いますが、平成27年度を見ても、2億5,000万円程度が実績となっているので、現実的には厳しい状況です。



ブランナールみささ

## 問 後期基本計画の重点目標は？

答 喫緊の課題である人口減少の克服と地方創生に向けて取り組みたい

### ○人口減少の影響は

清水

人口減少による自治体への影響は？

町長

村の活力なり、行事や集いなどの影響は非常に大きいものと捉えている。

### ○計画の優先順位は？

清水

計画の中で、やはり優先順位をつけていく必要があるのでは？

町長

やはり絞っていかないと、体力そのものにも限界があると思っています。

### ○観光振興

清水

なかなか宿泊客が増えてこない現状の考察は？また多言語の看板の設置は？

町長

三朝町なりの、三朝町の特色をいかした取り組みを展開していく。また、多言語のパンフレットなども整備していく。

### ○観光地の環境整備は？

清水

三徳山投入堂遙拝所の望遠鏡などの見直しが必要では？

町長

おいでいただいた皆さんにきちんと紹介できる施設の実現に向けて努力していきたい。

### ○農林業振興

清水

5年間で振り返って、三朝米のブランド化、神倉大豆の販売促進は？

町長

穀物検定協会から我が町の米が特Aランクをいただいた。今後は、

このお米を我が町においでくださる36万人の宿泊者の方に食べていただくよう確立していきたい。神倉大豆も30ヘクタール近くの栽培面積を確保するようになってきた。

### ○農業の担い手の育成は？

清水

今後の三朝町の農業を支えていくためには「担い手の育成」が最も大事だと考えるが。

町長

農業に携わっていく方を、有り難い担い手という認識で、協議会などを作り支援体制を強化していきたい。

### ○商工業振興

清水

道路整備が進み、都市圏が近くなった。商工業発展についての見解は？

町長

サービス業については、国のインバウンド対策に対応し、期待が出来る。

製造業は現状を維持していくために支援していきたい。

### ○住民の安心・安全

清水

消防団員の確保が難しくなっているが？

町長

全国課題であり、現状確保に努力していきたい。

### ○消防組織の再編

清水

人口減少に伴い、後期である今後5年間で、消防組織の再編が必要ではないか。

町長

ヘリポートの増設も含め、組織体制についても諮問していく時期を捉えてみたい。



清水成眞議員

### ○過疎バス対策

清水

新しい交通システムに向けて、協議する組織を作る時期ではないか。

町長

検討を重ねてまいりたい。

### ○定住促進

清水

県外から移住してくださる方についての考えは？

町長

大歓迎。移住者を大歓迎していく町として努力をしたい。

### ○青少年健全育成

清水

「青少年育成三朝町民会議」が休眠状態にある。今後、組織も含めて社会教育委員会に諮問してはどうか。

町長

諮問も含めて、努力してまいりたい。

### ○地域協議会

清水

地域協議会が発足して10年が立った。現在の地域協議会の見解は？

町長

今後も一層それぞれの地域が努力して住んで良かった町を構築する核になっていただきたい。

## 高齢者支援

### 問 高齢者の支援充実について

答 100歳元気な町づくりを目指し、三朝町に住んで良かったと思える施策を推進していく



中信貴美代議員

#### ○高齢者への支援の対応

中信

平成27年3月に三朝町高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画を策定し、住み慣れた地域に生き生きと安心して暮らせる町づくり、みんなで支え合いみんなでつくる福祉を三朝町が目指す基本理念として掲げている。高齢者支援の核となるのが地域包括支援センター。本町では人口6,800人台を割り、高齢化率（65歳以上）は36%となり後期高齢者の比率も高くなり、認知症高齢者層も増加傾向である。今の地域包括支援センターの人員配分には不安があり、実情に合わせた人員配置をするべきと思うが。



町長

町全体の人口は毎年100人程度減少、高齢化の進行は年々確実に進んでいる。地域包括支援センターの人数は65歳以上人口規模による配置基準どおりとなっている。職員定数の関係もあり現状の体制で進めていく。

#### ○地域ケア会議の充実が急務

中信

地域ケア会議はきめ細かな高齢者支援になるが三朝町ではまだ充実していないと感じる。軌道に乗せている町では要介護の認定の減少や介護給付の縮減等

効果がみられた。本町も早く実施に向けて取りかかるべきと考えるが。

町長

本町は個別の困難事例の対応、検討が中心。本来の町全体の地域課題の検討までは行えていない状況。

平成28年度は地域ケア会議充実のため経費を計上している。

#### ○介護予防事業の取り組みは

中信

介護予防事業の特定高齢者施策で65歳以上の方にチェックリストを活用し、要支援、要介護になるおそれのある方を早期発見し、生活機能の低下を防ぐために対する取り組みは。

町長

通所型介護予防教室、介護予防体操ラ・ドン体操。ラ・ドン体操を今年2月からNCNの協力を得て、月曜日から金曜日の午前10時と午後3時の放送している。

#### ○ボランティアの人材育成と認知症サポーター養成を

中信

介護予防健康づくりを進める地域ボランティアリーダー役としての人材育成と高齢者認知症の増加傾向の対応に認知症サポーター養成が必要と考えるが。

町長

検討してみたいと思う。

#### ○老人クラブへの支援は

中信

健康寿命を伸ばすことの活動は運動、教養、仲間づくり等だ。老人クラブの活動がまさにそう

.....  
だと思う。

現状加入者が減っているとのこと。加入のPRや補助金等、町として支援が出来るか伺いたい。

町長

個々の団体経活動支援。単位クラブや町老人連合会全体の運動会や研修会には助成をしている。

介護予防等で職員が出掛けて行く方向を模索してみたいと思う。

#### ○介護予防手引きの冊子作成を

中信

介護予防手引きは介護予防に役立つ内容が記入されている冊子。町民へ配布の検討をしていただきたい。

町長

三朝町にも必要と感じている。新年度に向けて対応を検討する。

#### ○三朝町が描く高齢者支援の将来像は

中信

第10次総合計画・後期基本計画が示され、高齢者支援の将来像について伺う。

町長

全ての高齢者が尊重され、可能な限り住み慣れた地域で継続して生活していくことができる町、100歳元気な町づくりを目指し、三朝町に住んで良かったと思えるようにそれぞれの施策を推進していきたい。

みささ  
ブレイン  
チール

## 問 指定管理者制度導入の今後の方針は

答 導入により経営改善を図り、債務の発生を迎え、債務の整理を進め将来的に売却を

### ○他の方式の計画より 指定管理なのは

石田

将来必要コストの支出がある指定管理より、他の方式の方が町財政に有効だと思うが、売却計画はなかったのか。

町長

新たに債務を発生させない事を優先すれば早期に売却する選択肢が望ましいが、町が処理する債務が大きく、財政への影響を考え判断した。

### ○直営から指定管理に 移行する理由は

石田

平成26年度決算でキャッシュフローがマイナスになり、平成25年度の経営診断報告が生かされていなかったのでは。

町長

総合スポーツセンターの改修により、学生の合宿等がなくなったことなどが、直接経営上の数字に響き、色々な状況等があわせ重なった結果、マイナスの要因を作り上げたと思う。

### ○10年後売却で、 10年後の町財政は

石田

現在の建物、土地を含めた評価額が約5億5千万円で、10年後の売却を視野に入れて将来価値を維持できるか、町財政の見通しなどの説明なり提示が必要では。

町長

100億を超えていた起債の償

還が始まっていた頃から考えると、一般会計の起債は40億どまり位に落ちてきた。企業債等は利息が安い方に借り換えをしてきている状況があるので、そういった今までの状況等を踏まえていけば大丈夫だと思っている。

### ○全国で直営最後の 休養宿泊施設

石田

会計基準が改正されて公営企業決算の状況という所に、休養・宿泊事業は全国で3事業になっている中で、直営で続けているのは三朝町のみと言う形で、よく耐えてこられたと思うが、他の地域で早期に手放してきた状況はご存じか。

町長

存じ上げている。リニューアルして2年間位は、全国一の売り上げをなし得て非常に三朝温泉の名も、ネームバリューも三朝温泉自体も上がっていたと思っている。当初の計画の中で結婚式などの売り上げが大きいものだったのが、結婚式をしなくなった、されなくなったことが全国で結婚式を捉まえて経営を考えておられた施設などに直撃していると思う。

### ○町民サービスが無くなるのでは

石田

条例で指定管理者に料金等も任せると変更されているが、町民のサービスが出来なくなるのでは。



石田恭二議員

町長

町民に対してのサービス等は、万全を期して指定管理者との間に話をしていく。

### ○セーフティネットとして 納付金を

石田

評価額程度の5億5千万円を、毎年度支払われる指定管理納付金として、町に分割して納めて貰うことが最低限必要ではないか。

町長

目安としている10年後の町のリスクを軽減するためにも、施設の譲渡を前提とした指定管理者制度の導入も、検討していきたいと考えている。指定管理期間終了後の譲渡を前提とした場合、町のリスクを減らすだけでなく、指定管理者にとっても投資しやすく、前向きに検討したい。





## 学校

**問** 統合が2年延長となったが現状はどうなっているのか

**答** 西小東側の用地を取得し新小学校を建設したい

### ○新校舎建設の候補地と統合時期

**藤井**

小学校統合に向けての統合準備委員会が設置された。その結果を受け、教育委員会では新校舎と場所を提案されたが、どうなっているのか。

**教育長**

環境のよい立地と安全安心等検討し、西小学校東側の新たな場所に新小学校を建設したいとする方針を出した。

**藤井**

校名、校章、校歌が必要だがどう考えているのか。

**教育長**

新小学校の位置等が決まりしだい、統合準備委員会で検討していく予定としている。

**藤井**

統合時期が30年から32年に延期になったのはなぜか。

**教育長**

西小学校の隣の場所に新築することになり、用地の取得というところで32年の統合になった。

**藤井**

候補地は水害、狭い道、住宅密集などの問題がありその点をどう考えているのか。

**教育長**

水害を防止するための工事はできている。車の出入りについても導入路を検討し、何とか対応できると考えている。

**藤井**

統合は大型事業であり教育委員会の枠を超えた事業の推進体制を整える必要があるのではないかと。

**教育長**

準備委員会の中で検討していきたいと思っている。

### ○資金計画は検討されているか

**藤井**

校舎整備だけでなく様々な必要経費が発生するが、資金計画について十分に検討されているか。

**教育長**

学校施設の整備の国庫補助金を国に要請し、残りの部分は過疎債という制度を活用していく。

**藤井**

過疎債の返済部分はどう考えているのか。

**教育長**

一般会計の公債費の残高は減少してきている。過疎団体に指定され、過疎対策事業債という起債が使えるようになり、公債費の額は大きくなるが実質的な負担を考えると



藤井克孝議員

大丈夫と考える。

### ○小中一貫校は検討されないのか

**藤井**

小中一貫校のあり方について、小学校、中学校の建物は別々でも小中一貫校の取り組みはできる。一貫校になっても教員はそのままという面も考慮された中で小学校を統合し、中学校はまた後から校舎等を直していくことは考えていないのか。

**教育長**

教育基本法の一部が改正され、町が望めば小中一貫校ができる。今回の小学校統合については、小中一貫校とは切り離して検討していく。

**藤井**

統合問題について検討を重ねてもらいたい。



## 保育園

**問** 竹田保育園のあり方は

**答** 今後の園児数の推移、町民の意見を伺いながら検討する

**藤井**

竹田保育園は園児13名のうち、竹田地区9名、地区外は4名、平成28年度は地区外から5名入園される予定である。地域資源を取り入れた

中山間地域の保育についてどのように理解されているのか。

**町長**

竹田保育園では四季を通じて地域の自然環境を生かし、五感を刺激

する体験活動を行っている。今後も四季の自然や文化的環境を生かした保育実践を進めていくことが重要であると考えている。今後の園児数の推移、町民の方や関係者のご意見も伺いながら検討していく。

**藤井**

3園をそれぞれ地域にあった環境整備をし、山、川に育つ園児のためにも大改修等も含めて検討していただきたい。

## 学校統合

**問** 財政面も含めて町民の理解を

**答** 有利な過疎債を活用し対応する

平井

平成26年12月に3校を統合し新小学校を設立することが望ましいとする方針が決定され、教育委員会としての統括として、現在の西小学校東側への新築を提案されたが、統合に向けて通学手段の確保や校舎の跡地利用など様々な課題への取り組みが必要である。コミュニティスクールによる小中一貫による学校を核としたまちづくりを目指すことが重要ではないか。

教育長

小学校統合にあたり、保護者の皆さんとの意見交換でも、地域における学校の存在が大



きく、学校の運営についても大きな関心を持っておられることを改めて認識した。

小中一貫校については、今後検討していかなければならない課題も多く、学校、保護者、地域の皆さんと時間をかけて議論していく必要があり、コミュニティスクールと小中一貫校については別々に検討することができる。

町長

小学校統合準備委員会や教育委員会での協議の結果を踏まえ、三朝町総合教育会議において小学校統合校舎を西小学校東側へ建設する方針を出した。統合される新校舎において本町の宝である子どもたちが生きる力を身につけ、これからの三朝町を担っていく人材に育っていくことを強く望むものである。

平井

巨額の費用を投じて新築移



平井満博議員

転を行うことについては、財政面も含めて町民の理解を求めていくべき。

町長

新校舎の建設にあたっては、多額の事業費を要することから、町としても慎重な財政推計のもとで行わなければならない。

国庫補助金を最大限活用するのはもちろんのこと、活用できる基金や有利な起債など活用することで、厳しい財政事情の中ではあるが長期的視野に立った安定した財政運営に心がけていく。

れている。

法改正の目的である担い手への農地利用集積、遊休農地の発生防止や解消が効果的に推進できるように農業委員会として努めていきたい。



## 農業委員会法改正

**問** 組織・制度の見直しの取り組みは

**答** 平成29年6月議会に選任案を予定

平井

農業委員会法の改正は、農業委員の選出方法の見直しや農地利用最適化推進委員の新設、農地中間管理機構との連携のもと農地利用の最適化を推進するとあるが、農業委員会としての取り組みと農家現場への説明をどのように行うのか。

農業委員会会長

農業委員の選出方法については、従前の公職選挙法による公選制を廃止し、町長が議会の同意を得て任命する方式へと変更となる。地域の農家や農業団体等に推薦を求めるとともに公募も同時に実施し、結果について公表することも義務付けら

## 子育て 問題

**問** 保育・子育ての充実をどう図る

**答** 支援情報を一元化し充実に努める

### ○地域との連携

池田

子育ては今や、各地域・各施設・各職場・各市町村ぐるみ、そして国策として取り組んでいくべき重要問題。特に、過疎地域に於いては地域との連携は町の活性化にもつながり、その発展を図るべきだと思うが。

### ○町民全員で

町長

保育園をはじめ小・中学校の児童・生徒に対しても老人クラブの方々が率先して横断歩道や交差点に立って見守っていただいている。こうした

活動を定着させ、町民全員で、という方向に発展させていくことが出来たらと思う。

### ○里山保育の教育的効果

池田

保育の専門誌・関係者等から高い評価を受けている里山保育、教育的効果も大いに期待でき、地域との連携も大いに進んでいるが、町として更なる発展、促進をどのように考えているか。

### ○大いに感謝

町長

地域の方の今までの経験の中で、子どもたちに色々な事



池田雅俊議員

.....  
を教えていただいたり、関わったりしていただいていることに対して、こういった形が出来ていることは素晴らしいことだと大いに感謝しながら、今の状況が更に進められていくことを願っている。

## 教育 問題

**問** 三朝町教育の方向性を問う

**答** 三朝町教育大綱に沿う形で

### ○教育委員会に求められるもの

池田

小学校統合問題において教育の体制、理念、方向性といった基本概念を打ち出し、町の教育活動にどのように関わっていくのか示す事が求められ



西小

ていると思うが。

### ○大所高所から

教育委員長

教育委員会は町長から独立した行政委員会で教育行政の基本方針について大所高所か



南小

ら話し合っている。研修会に参加して国や県の方針を学び、定期的な学校訪問で子どもたちの様子、教職員の状況を把握し、誤りのない町の教育方針を決定していかなければならないと考えている。



東小



## 統小学校合校

**問** なぜ新校舎が必要か十分な説明が必要

**答** 多様な教育に対応できる新校舎の建設を

### ○平成30年の小学校統合は町民に対する約束

山口

新校舎建設で統合が2年遅れることは約束を破ることであり、町民に対して納得できる説明が必要だ。また新校舎建設となると多くの財政負担を伴うことになる。

### ○西小学校の改修ではだめな理由の説明が必要

山口

なぜ西小学校の大規模改修では統合に対応できないのか、町民が納得できる理由や証拠を明確に示し、説明すべきである。

### ○保護者は2年遅れても新校舎を希望

教育長

統合が2年遅れることは申し訳ないが、多様な教育形態に対応できる新校舎の建設を保護者も希望しておられる。

町民に対しても統合が遅れることを説明し、理解を得たい。



### ○新校舎で実践する教育とその教育で期待される効果等の保証が必要

山口

新校舎を建設して多様な教育を展開したいとのことであるが、多くの予算を要することでもあり、その教育を実践することでどのような効果が期待できるか証拠を示す必要がある。

### ○知・徳・体のバランスの取れた教育の実践

教育長

知・徳・体のバランスの取れた教

育や、積極的に授業を自ら作る学習が求められており、学力が確実につく教育や特別支援教育を実践したい。

### ○新校舎建設を必要とする具体的な教育内容の提示が必要だ

山口

一般論としては、新校舎で統合するのが良いと思う。

しかしながら、統合後は先に制定した教育大綱に則って多様な教育を展開するとのことであるが、教育大綱は抽象的な表現で具体的な教育内容は見えず、町民が納得できる新校舎を必要とするより具体的な教育内容の青写真を示すべきである。



### ○新校舎建設を町民が納得できる説明が必要

山口

すべての面で西小より大きな学校の建設計画であり、なぜその大きさが必要なのか、その理由について町民が納得できる青写真を作成し、町民に対して丁寧な説明が不可欠である。



### ○多様な学習形態に対応できる校舎建設

教育長

多様な学習形態に対応できる空間を確保し、快適な学校生活が過ごせるバリアフリー化、緊急時避難場所としての機能を持った校舎の整



山口 博議員

備としての新校舎建設であることを理解していただきたい。

### ○三朝町も小中一貫教育に取り組むべきと考えるが

山口

時代の流れとして小中一貫教育について取り組むべきではないか。



### ○時間をかけて検討したい教育長

なぜ小中一貫教育にしなければならないのか、何のためにするのか時間をかけて検討したい。

### ○遺漏のない十分な統合準備を

山口  
町内3小学校の統合は、新小学校の創設であり、今後30年50年先を見通した三朝町初等教育のスタートである。

統合後の小学校では県内外が注目する教育が展開されることを期待している。

遺漏のない統合準備を進められたい。

## 議案に対する賛否

議案番号	議案番号	議員名（議席順）											結果
		石田 恭二	吉田 道明	池田 雅俊	能見 貞明	中信 貴美代	山口 博	清水 成眞	藤井 克孝	平井 満博	山田 道治	牧田 武文	
町長提出議案名													
（2月臨時議会）													
1	平成27年度三朝町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	平成27年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	平成27年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	三朝町職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5	三朝町町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
（3月定例議会）													
7	平成28年度三朝町一般会計予算 （①を削除） 特別委員会修正案 ①小学校統合事業費及び債務負担行為 ①を除くすべての予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
8~18	平成28年度特別会計予算（11件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	三朝町職員の降給に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	三朝町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	三朝町国民宿舎事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	三朝町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25	三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	三朝町基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	三朝町産業振興審議会設置条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	鳥取県行政不服審査会共同設置規約を制定する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	三朝温泉多目的駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
33	第10次三朝町総合計画の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	三朝町過疎地域自立促進計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	定住自立圏形成協定の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
37	鳥取県自治体 ICT 共同化広域連携協約を締結する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38~45	平成27年度三朝町一般会計補正予算（第6号） 平成27年度特別会計補正予算（7件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
議員提出議案名													
（2月臨時議会）													
議1	三朝町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
（3月定例議会）													
議4	小学校統合調査特別委員会の設置に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

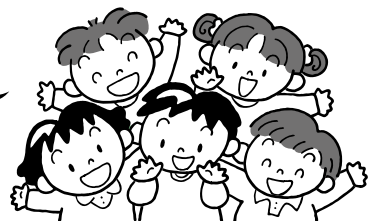
※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※福田茂樹議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 3月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予防の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会	採択 意見書提出	軽度外傷性脳損傷を周知することは福祉の向上という観点からも重要である。
旅客自動車運送事業に係る安全体制の整備について	倉吉市 足羽 佑太	採択 意見書提出	バス利用者等の生命・身体を守るのは当然のことで、今後更に安全体制を整備する必要がある。
精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書提出に関する陳情	鳥取県精神障害者家族会連合会	趣旨採択	全ての障がい者に均等に福祉の光があたるべき。
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	鳥取県労働組合総連合	趣旨採択	陳情の趣旨は理解できるが、地方の中小零細企業では経営等において厳しい状況がある。
未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情	任意団体 Kids Voting Japan	不採択	選挙で混乱を招く恐れがあること、また教育現場において十分な教育実践が行われている。

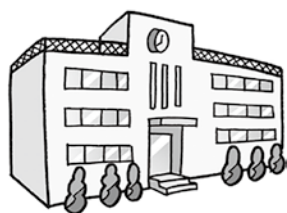
2月12日開催

# 子ども夢議会



「平成27年度子ども夢議会」が2月12日、三朝町役場議場で開催されました。これは町行政の現状や将来について理解を深め、議会の仕組みについて学習することを目的に毎年開催され、今年で14回目を迎えました。

当日は町内の小学6年生6人が質問に立ち、町長や教育長に対して町に対する意見や要望を発表しました。



東小6年 ながやす ゆうた 長安 雄太 議員

## 通学路の整備について

(質問) 通学路で気になること。

- ①砂原あたりから街灯が少なく危ないので街灯を増やすことはできないでしょうか。
- ②余戸のカーブミラーが汚れて、自転車や対向車が見にくいと思う。通学路の点検時カーブミラーも調べていただけないでしょうか。

(回答)

- ①街灯設置は一定の基準のもと設置されるので、すぐには難しいが、道路管理者や関係機関との協議に強い要望があったと伝えます。
- ②余戸のカーブミラーの汚れは町の道路維持担当課で対応します。昨年通学路安全対策推進協議会を設置。通学路で気になる箇所があれば学校へ報告してください。



西小6年 つのだ じゅん 角田 純 議員

## 災害時の避難場所について

(質問) 避難場所で小学校や役場以外の避難場所はどこか。表示や看板を設置すれば安全に避難が出来る。お年寄りがあまり移動しなくてもよいよう、避難場所を増やす事が必要だと思います。

(回答) 避難場所には各地域の集会施設や体育館、小・中学校、保育所等人が多く集まれる22の公共施設を指定しています。また避難した先で特別な援護が必要な方のために、福祉避難所として3つの福祉施設を指定しています。



西小6年 みやもと 宮本 くるみ 議員

## 統合後の校舎の有効利用について

(質問) 空き校舎をそのまま使用すれば、お金もかからない。人とのふれ合いや、子どもたちが校庭や体育館で遊んだり、本を読んだりする多目的施設として有効利用するとよりよい町になると思います。

(回答) 空き校舎をそのまま使用する提案は財政状況が厳しい本町を考えると、ありがたい。また多目的施設の提案は、今後統合準備委員会の話し合いに反映させていきたいと思います。



南小6年 <sup>ふじやま</sup> 藤山 <sup>りょうや</sup> 諒也 議員

### 路線バスについて

**(質問)** 路線バスを利用する時、部活終了後南小方面へ帰るバスが午後7時過ぎの穴鴨までのバスしかなく、利用出来ない。南小方面のバスの便を増やし、もう少し遠くへ行けば中学生や他の人が便利になり利用が増えるのではないだろうか。

**(回答)** バス路線を増やすのは予算を含め大変なエネルギーがかかります。昨年度三徳山と三朝温泉が日本遺産になった効果かバス利用者が増えバス会社への補助金が少し減りました。今後バス路線の見直しについてバス会社と話し合ってみたい。今以上に多くの皆さんにバスを利用していただきたいです。



西小6年 <sup>いわやま</sup> 岩山 <sup>かれん</sup> 佳恋 議員

### アスレチックとキャンプ場で輝く町づくりについて

**(質問)** 三朝町には自然と温泉があり、温かい心を持った人が育つ環境があります。この魅力を増やし、活気があって輝く町にするために、町内にアスレチック場とキャンプ場を造ることを提案します。

**(回答)** 三朝町はキャンプやアスレチックを体験するような場所を十分秘めています。またこれからは地域の中で眠っている宝を発見していくことも大事だと考えています。提案は今後町づくりを進める上で参考にさせていただきます。



西小6年 <sup>いわもと</sup> 岩本 <sup>たもん</sup> 多聞 議員

### 空き家対策について

**(質問)** 三朝町全体でどのくらい空き家があるのでしょうか。町外の人に安い値段で貸すと人口増になるし、危ない空き家は解体すれば良いと思う。こうすれば町民が安全に暮らせるようになると思いますが三朝町はどのような空き家対策をしておられますか。

**(回答)** 調査した結果町内の空き家は280戸、このうち利用出来る空き家は30戸あります。空き家バンクの仕組みを設け、登録のあった8戸のうち4戸が活用されています。一方危険な空き家は町で取り壊しを行うよう努力しています。空き家を活用し人口増加につながるよう一層努力します。

## みささの町を元気に

三朝温泉観光協会 会長

新藤 祐一



観光は、そもそも神社仏閣めぐりから始まった。三朝温泉観光協会は、現在、ほっとプラ座、ふるさと健康むら、スポーツセンター、観光駐車場と四つの施設の指定管理を受けています。それぞれの施設は、全く関係ないよう様々な意味で関連しています。

まず、事務局が位置する「ほっとプラ座」は三朝の観光の中心に位置しています。①三朝大橋のたもとを拠点に、観光駐車場から三徳山にかけては、歴史と文化の探訪でありましょう。②ふるさと健康むらからスポーツセンターの一带は、健康・スポーツにまつわる、子どもから老人まで楽しめる体験型観光の拠点であろうと思います。

地方創生が叫ばれる今年、三朝温泉観光協会は、日本遺産第一号の旗印のもと、世界有数の効能を誇るラドン温泉を中心に、歴史と文化を堪能し、食の素晴らしさと健康増進を創造する、未来型観光を目指して、指定管理を受けた施設をフルに活用して邁進していきます。

- ① 温泉を利用した健康増進が大人気となり、温・食・医で世界に名を馳せる。
- ② 観光駐車場に、三徳山入山入口の大鳥居を立てて、シャトルバスを運行する。  
三朝温泉を三徳山の入口として、三徳山お参りと三朝温泉宿泊をセットにする。
- ③ ふるさと健康むらにて「神の食卓」 神倉大豆の納豆・豆腐、特Aを頂いた「きぬむすめ」が大繁盛…全町の生産農家と一体となって大喜び…



ふるさと健康むら



スポーツセンター



多目的駐車場

## ●題字提供者紹介

みささ  
議会だより

南小学校6年 川北宇宙さん

入学式では児童代表として温かい歓迎の言葉で6名の新入生を迎えました。  
水泳とドッジボールに一生懸命な南小学校の6年生です。

おむすめ  
ちやひやひやん

春先、路のとうを見つつけ、春を食する時期が来たなど心が和みました。孫たちと散歩しているときつくしがでていて楽しそうに摘み始め、一緒に食べてかご一杯取り、佃煮として食した。

三朝の自然の恵みの中で伸び伸びと動き回っている子どもたちに、この楽しいひと時を忘れないで欲しいと願う。

今春北海道新幹線が開業し北海道から九州までつながった。視野が広がり便利になってきている世の中、子どもたちを取り巻く環境もびっくりぽん。こういう状況の中、たくましく優しく生き生きと成長する子ども達の環境づくりが大切です。

三朝町を背負う子どもたちに、地域が一体となって温かい眼差しを向け、笑顔で声をかけていきたいものです。

(中信貴美代記)

発行責任者

議長 福田 茂樹

編集

議会広報常任委員会

委員長 藤井 克孝

副委員長 中信貴美代

委員 山田 道治

委員 平井 満博

委員 池田 雅俊